

2015年4月

おきなわもずく種

(*Cladosiphon okamuranus* Tokida)

おきなわもずく種審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ナガマツモ科 (Chordariaceae) オキナワモズク属 (*Cladosiphon* Kützinger) のオキナワモズク種 (*C. okamuranus* Tokida) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 養殖網に種付けを行い、養殖場に本張りしたもの
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 原則として5尺網(幅1.5m×長さ20m) 5枚分
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 30個体
- iii) 栽培期間 1生育周期とする。
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、養殖網全体から採取した30個体又は採取した部分30個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期等 特に指示がない限り、調査は収穫適期に行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法を添えて申告し、審査当局がそれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、供試個体数が30の場合、許容される異型個体数は1である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 軸の長さ (形質1)
- ii) 軸の太さ (形質2)
- iii) 側枝の粗密 (形質3)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

- G: グループ分けに使用する形質
- QL: 質的形質
- QN: 量的形質
- PQ: 擬似の質的形質
- (+): VIIIに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

網掛け（特性表のピンク色の部分）：願書に添付する説明書（種苗法施行規則第7条、別記様式第2号）に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表 (Table of Characteristics)

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QN (+) G	軸の長さ	Axis: length	主軸の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	標準株	
2		QN (+) G	軸の太さ	Axis: thickness	主軸の最も太い部分の直径	測定 mm MS	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	標準株	
3		QN (+) G	側枝の粗密	Axis: density of lateral branches	主軸基部10cmにおける側枝の数	測定 MS	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	標準株	
4		QN	軸の褐色の濃淡	Axis: intensity of brown color	主軸の最も太い部分の褐色の濃淡	観察 VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	標準株	
5		QN (+)	軸の硬さ	Axis: hardness	主軸基部の硬さ	観察 VG	3 5 7	柔 中 硬	soft medium hard	標準株	
6		QN (+)	ぬめりの多少	Axis: mucus	藻体から分泌される粘液によるぬめりの多少	観察 VG	3 5 7	少 中 多	few medium many	標準株	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7		QN	収穫期の早晩	Harvest time	種付けから収穫期終了までの日数	測定 日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	標準株	
8		QN	高水温適応性	Adaptation to high temperature	25℃以上の海水温に対する適応性	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	標準株	

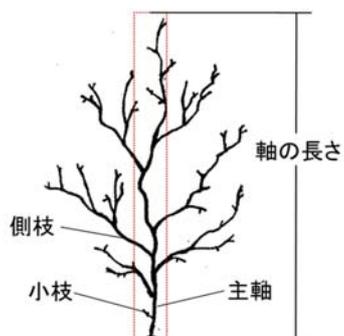
注) 標準株は、沖縄県水産海洋技術センターが保存管理している標準株のことである。

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質1 軸の長さ Char.1 Axis: length

形質3 側枝の粗密 Char.3 Axis: density of lateral branches

主軸の基部から10cmまでの部位において分岐する側枝の本数を計数する。(小枝は計数しない。)



形質2 軸の太さ Char.2 Axis: thickness

主軸の最も太い部分の直径を、顕微鏡と接眼マイクロメーターを使用して測定する。

形質5 軸の硬さ Char.5 Axis: hardness

主軸の基部を指で触って判断する。

(判断の目安) 3: 柔 指先でたやすくつぶれる

5: 中 指先で強く押しとつぶれる

7: 硬 指先で強く押ししてもつぶれないが、爪を立てると切れる

形質6 ぬめりの多少 Char.6 Axis: mucus

収穫適期の藻体を平滑な板上に置いて、その板を徐々に傾け、標準品種が滑り落ちた角度と対象品種が滑り落ちた角度との比較によって判断する(ぬめりが多い品種は標準品種「標準株」よりも低い角度、少ない品種は標準品種「標準株」よりも高い角度となる)。